



良妻との子作り生活

「おかえりなさい。今日もお疲れ様でした」

明るくて清楚で綺麗  
・・・と周りからはそう思われている彼女

もちろんそれと間違いないけど

『彼女の夜の顔』を

自分以外は誰も知らない

「あら、おかえりなさい  
今日もお疲れ様でした」



「お風呂すぐに入れますよ」



「あがったらお食事の支度もできてると思うので一緒に食べましょうね♡」

「あっ、今日の献立はすっぱん鍋とうなぎですよ♪」  
このように毎日精がつきそうな物を  
俺に食べさせては



毎日子作りを求めてくる  
とてもえっちな娘だったのだ

「いっぱい食べていっぱいしましうね♡」

食事もお風呂も済ませて  
寝室へ行くと・・・



「待ってましたよ、あなた♡」

「今晚も寒いので  
お布団温めておきました」

グイッ

ホカ

ホカ

んんん

「ふんふん♥」



「こっやって抱き合っていると  
身体がぽかぽかしてきますね♡」

「・・・出そうですか？  
良いですよ遠慮せず好きな時に出して下さいね」





あん♡

グ  
ビュ  
ッ

ビュ  
ッ

ん。

「何だか身体も温かくなってきました」



「・・・はっ、もっとほじまじっちゃうな」





「すごく気持ち良かったです  
もうちよつとだけしましよう♡」

この調子で毎日身体を求めてくる  
普段はおとなしそうなのに底なしの性欲だ



「一緒にお風呂入ってる時も  
「今日は胸で綺麗にしますね」



ドキドキ  
ン







「あらら汚れちゃいましたね。。。また綺麗にしますね♡」

あはっ♡

ふふっ。。。







「いま抜いちゃうと湯が汚れちゃいますので  
出し切るまでこのままですわい」

「ほらほら、こぼれちゃわないように  
ぎゅーっとして下さい・・・うふふ♡」



ドュ~~~~~

ぎゅ

ぎゅ♡

もちろん自分から行くときもある  
特に疲れた時なんかは  
嫌な事を忘れて抱きたくなる

「おかえりなさい、あら」



「今日はすごく大変だったようですね、お疲れ様です  
ちようど準備もできましたしお夕飯を・・・」



「あらあら……。今ですか？いえ嫌ではないですが  
お風呂一緒に入るうと思っでまして  
私はその、まだ入ってないので……。あの……」

「……。そうですか？あなたが大丈夫なら  
あつ、今火を消しますね  
……。はいどうぞ」



(夢中で腰をぶつけてきますね・・・  
最近お忙しいようでしたから  
ストレスが溜まってるのでしょうか?)





（ああ・・・今日はいつもよりいっぱい出てる・・・  
やっぱりすごくお疲れだったんですね）



（私を使って日々の疲れをとって下さいね♡）

「あわわ、この格好はちょっと恥ずかしいですね」



(あっあっ。。。この体勢だと深くまで挿ってスゴイ。。。)

(ちよっと苦しいけどキモチイイかも。。。)





「ああ……。出してもらったのにとぼれちゃう……。」

「……。はい、ではお布団で続きをしましょうね♡」





「またおっぱいでしたいんですか？もちるんいいですよ♡」



ズ  
ー  
ー  
ー

えいっ♡

くさ♡

ズ  
ー  
ー  
ー

ぽっ♡

ぽっ♡



「こんなに出したのに、まだまだ元気ですねえ♡」

♡  
♡  
♡

♡  
♡  
♡

♡  
♡  
♡

♡  
♡  
♡



「あ、あの、重くないですかね・・・？」

（やはり抱えられるのは・・・慣れませんね）







(この体勢でぎゅーつとされるのはすごく良いです……)

はぁー！♡

ん♡

ぎゅ

ぽん

ズンズン

ん♡  
ぽん

「……抱えたままもう一回ですか？  
恥ずかしいですが……いいですよ♡」







「はあ。。。はあ。。。お疲れ様でした」

「おっ  
♡」

「ゴッ  
ッ」

♡

「また明日からがんばりますようにね  
私もがんばります♡」



時間が経ったある日

「あら、おかえりなさい  
今日もお疲れ様でした」

「・・・これですか？」

寒くなってきたのでマフラーを編んでみました  
もちろんあなたのもありますよ♡  
あと産まれてくる子の分も」



「マフラーの数がおかしい？」



「まだ5個ほどしか作っていません  
もちろんこれから生まれてくる子の分ですね」

「・・・あっ！安心して下さい！  
足りなくなったらまた編みますので」



「今日もいっぱいしましうね♡」

おしま





















































































